

性能及び試験方法

項目	性能			試験方法および条件 (JIS C5101-1準拠)															
	CG, UJ特性	R特性	F特性																
誘電正接	2.5%以下 *1)		5%以下 *1)	CG特性 : 1MHz UJ, R, F特性 : 1kHz 測定電圧 : 0.5~2Vrms															
耐電圧	絶縁破壊および破損のないこと			直流電圧印加時間 : 1~5秒 CG, UJ特性 : 定格電圧の300%印加 R, F特性 : 定格電圧の250%印加															
絶縁抵抗	10,000M または500M μ Fのいずれか小さい方の値以上			定格電圧印加後、1分値															
固着性	 コンデンサ 5N 試験用基板 端子電極の剥離またはその徴候があってはならない。			試料を左図に示す試験器具にはんだ付けし、矢印の方向に5N (0.51kgf)の力を加える。															
耐振性	外観	著しい異常のないこと		振動周波数範囲 : 10~55Hz 全振幅 : 1.5mm, 10~55~10Hz 1分間 XYZ方向 各2時間 計6時間															
	静電容量	規格許容差以内にあること																	
	誘電正接	初期規格値を満足すること																	
はんだ耐熱性	外観	著しい異常のないこと		はんだ : H60AまたはH63A(JIS Z 3282) はんだ温度 : 270 \pm 5 浸せき時間 : 10 \pm 1秒 予熱 : 80~100 (1~2分) 170~200 (1~2分) 予熱を行った後連続してはんだ浸せきを行う															
	静電容量	\pm 2.5%または \pm 0.25pFの何れか大きい方の値以内	\pm 7.5%以内		\pm 20%以内														
	誘電正接	初期規格値を満足すること																	
	絶縁抵抗	初期規格値を満足すること																	
耐電圧	絶縁破壊及び破損のないこと																		
はんだ付け性	電極面が75%以上新しいはんだで覆われていること			はんだ : H60AまたはH63A(JIS Z 3282) はんだ温度 : 230 \pm 5 浸せき時間 : 2 \pm 1秒															
温度サイクル	外観	著しい異常のないこと		<table border="1"> <thead> <tr> <th>段階</th> <th>温度</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>最低使用温度</td> <td>30分</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>常温</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>最高使用温度</td> <td>30分</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>常温</td> <td>3分</td> </tr> </tbody> </table> 上記1~4段階の温度に順次放置し1サイクルとする。 この操作を25サイクル繰り返す。	段階	温度	時間	1	最低使用温度	30分	2	常温	3分	3	最高使用温度	30分	4	常温	3分
	段階	温度	時間																
	1	最低使用温度	30分																
	2	常温	3分																
	3	最高使用温度	30分																
4	常温	3分																	
静電容量	\pm 2.5%または \pm 0.25pFの何れか大きい方の値以内	\pm 7.5%以内	\pm 20%以内																
誘電正接	初期規格値を満足すること																		
絶縁抵抗	初期規格値を満足すること																		
耐電圧	絶縁破壊および破損のないこと																		
耐湿負荷	外観	著しい異常のないこと		試験温度 : 40 \pm 2 相対湿度 : 90~95% 試験時間 : 1000 +48, -0時間 定格電圧を印加する															
	静電容量	\pm 5%または \pm 0.5pFの何れか大きい方の値以内	\pm 12.5%以内		\pm 30%以内														
	誘電正接	5%以下 *1)			7.5%以下 *1)														
	絶縁抵抗	1,000M または50M μ Fのいずれか小さい方の値以上																	
高温負荷	外観	著しい異常のないこと		試験温度 : 上限温度 \pm 3 試験時間 : 1000 +48, -0時間 定格電圧の200%の直流電圧を印加する *2)															
	静電容量	\pm 3%または \pm 0.3pFの何れか大きい方の値以内	\pm 12.5%以内		\pm 30%以内														
	誘電正接	4%以下 *1)			7.5%以下 *1)														
絶縁抵抗	1,000M または50M μ Fのいずれか小さい方の値以上																		
たわみ	外観	機械的損傷がないこと			単位 : mm たわみ量が1mmになるまで毎秒1mmの速さで加圧し5秒間保持する。 試験中は試料両端に静電容量計を接続する。 														
	静電容量	\pm 5%または \pm 0.5pFの何れか大きい方の値以内	\pm 12.5%以内	\pm 30%以内															

* 1) 誘電正接

形名	温度特性	定格電圧	初期	耐湿負荷	高温負荷
CNH20R224M-□M	R	16V	5% max.	7.5% max.	7% max.
CNH20R474M-□M					
CNH20R105M-□M					
CNH20R475M-□M		6.3V	9% max.	12.5% max.	12.5% max.
CNH20R106M-□M					
CNH10R105M-□M					

* 2) 下記製品は150%印加になります。

CNH20R224M-□M
CNH20R474M-□M
CNH20R105M-□M

下記製品は定格印加になります。

CNH20R475M-□M
CNH20R106M-□M
CNH10R105M-□M